



**新潟産業大学** 地域に学び、地域をおこす  
Niigata Sangyo University

# 2025年度地域理解ゼミナールⅣ 合同発表会

地域農業・6次産業分野 発表者：立田和也

発表テーマ

「社会問題化する野生動物との共生」

担当教員：金光淋

2026.1.22



出典：毎日新聞 **ヒグマ対策「適度な距離感」  
考える時**

# 01

## 問題提起

### 「人間生活を脅かす クマによる被害」

クマの他にもアライグマ・ハクビシン・シカ・イノシシなどの野生動物被害が社会問題となっている

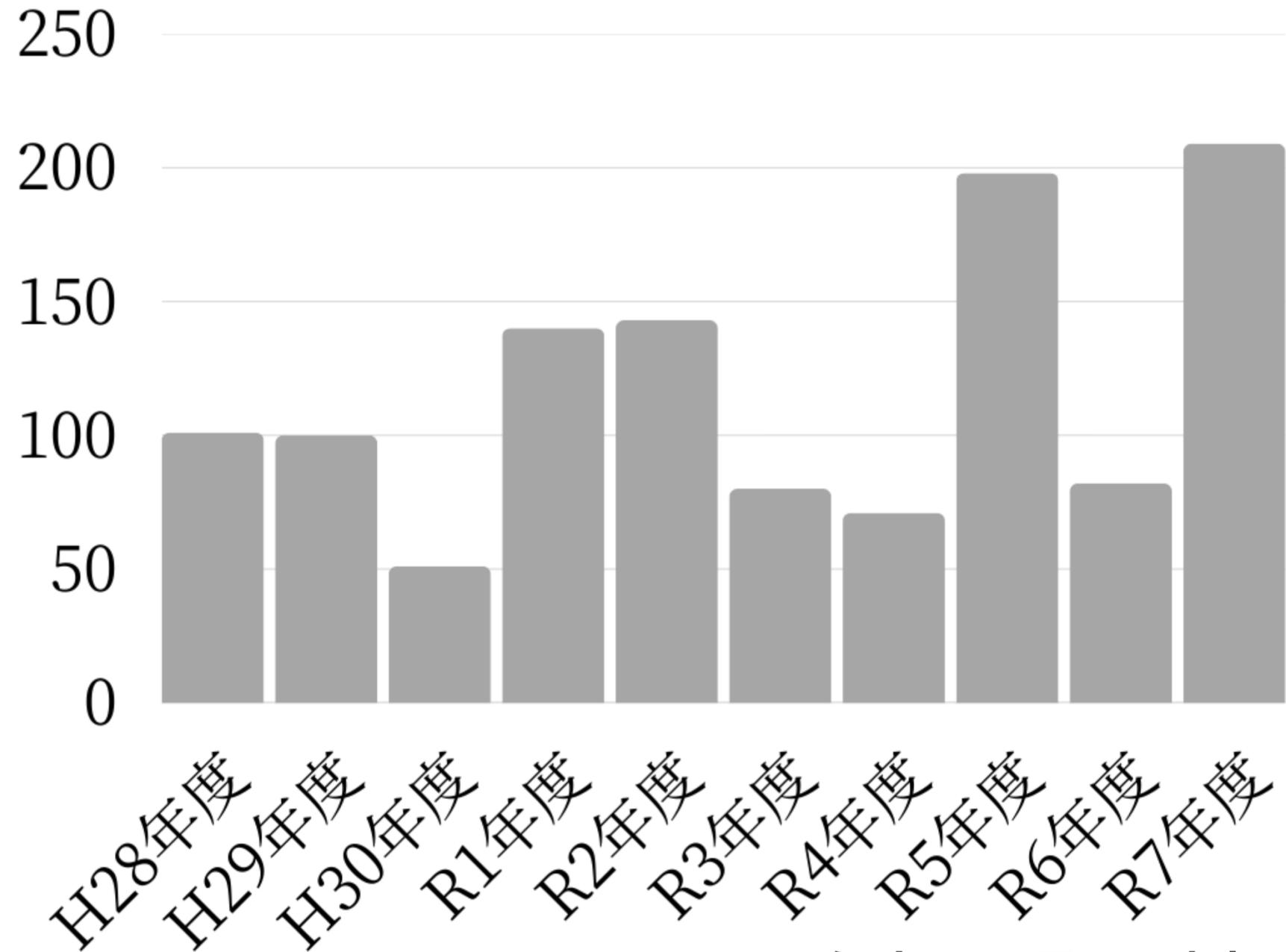
年々被害件数が増加

年度ごとにばらつきはあるが、  
全体的に見ると被害は増加傾向

R7年度は過去最多

R7年度は12月時点で過去最多の  
R5年度を上回っている

● クマによる人身被害件数



※R7年度は12月5日時点

### 03 クマ被害が増加している理由

#### 餌不足

森林の人工林化や  
木の実の凶作などにより  
人里に降りてくる

#### 耕作放棄地

過疎化により人の手が  
入らない土地が増え、  
クマが隠れやすくなった

#### 個体数回復

保護施策により  
クマの個体数事態が  
回復してきている

「人間が動物の環境を変えてしまった」

## 04 | 問題解決のために

人間と動物が  
共に生きる未来を築くには、  
私たち人間の行動次第である

- 食べ物の管理・・・餌になるものを  
放置しない
- 環境整備・・・クマが隠れやすい  
藪などを撤去する
- 行動・・・クマの出没する場所に近づく  
ときは音を立てて知らせる



出典：環境省「豊かな森の生活者 クマと共存するために」

## 05 | 引用・参考文献

- 環境省 野生鳥獣の保護及び管理  
<https://www.env.go.jp/nature/choju/index.html>
- 日本の野生動物問題まとめ | クマ・シカ・イノシシ・外来種の現実  
<https://www.sf-japan.net/archives/9482>
- 毎日新聞 ヒグマ対策「適度な距離感」考える時  
<https://mainichi.jp/articles/20231217/ddl/k01/040/006000c>
- 環境省 [豊かな森の生活者と共存するために](https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5/docs5-kuma.pdf)  
<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5/docs5-kuma.pdf>

ご清聴ありがとうございました